

防災情報

(令和5年5月6日 自主防災部部会)

目次

- (1)令和4年の自然災害
- (2)防災と減災
- (3)減災のための備えと備蓄品
- (4)ハザードマップ
- (5)警戒レベル
- (6)避難時持出し品

1. 令和4年の自然災害

(1) 台風14号

9月18日に非常に強い勢力で鹿児島市付近に上陸し、19日朝にかけて九州を縦断。

九州を中心に西日本で記録的な大雨や暴風となり、9月15日の降り始めからの総雨量は、九州や四国の複数地点で500ミリを超えるなど、9月1か月の平年値の2倍前後となった。宮崎県美郷町では1,000ミリ近い雨量を観測した。また、最大瞬間風速では、鹿児島県屋久島町で50.9メートルを観測したほか、複数地点で観測史上1位を更新した。



(出典:ウェザーニュース)

(2)台風15号

9月23日09時に室戸岬の南約300キロで発生後、北東進し、近畿地方や東海地方に接近した後、24日09時に東海道沖で温帯低気圧に変わった。

台風周辺の発達した雨雲により、東日本の太平洋側を中心に大雨となり、静岡県や愛知県では、23日夕方から24日明け方にかけて線状降水帯が発生し記録的な大雨となった。特に、静岡県では猛烈な雨が降り続き、記録的短時間大雨情報を多数発表した。



(出典:静岡新聞)



(出典:静岡新聞)



(出典:静岡新聞)

2.防災と減災



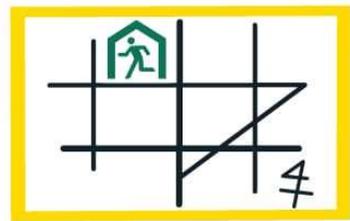
(出典:HOME ALSOK)

減災のための7つの備え

1 自助と共助



2 地域の避難場所 危険区域の確認



3 地震に強い家にする



4 家の中に 安全空間をつくる



5 備蓄・常備品の 準備



6 家族間での 防災会議



7 地域との つながりを大切に



(出典:HOME ALSOK)

3.減災のための備えと備蓄品

自宅の状況を確認

- 自宅や学校・職場が**注意を要する箇所**に入っていないか、また、近くに**危険な箇所**がないか確認しましょう。
- 家族で**避難時の行動**について話し合っ、それぞれの役割やはぐれた時の集合場所・連絡方法などを確認しておきましょう。



持ち出し品を確認

- 避難時の持ち出し品は、日頃から準備しておき、**置き場所**を決めておきましょう。
- 非常食や飲料水などは、定期的に新しいものと取替えましょう。
(飲料水の目安: 1人1日3リットル)



避難場所を確認

- 災害時には自宅に一番近い避難所が使えない事態も考えられます。**近い避難所を2箇所以上**確認しておきましょう。
- 自宅から避難所まで実際に歩いてみて、**危険想定箇所**を避け災害時に通行できない場合など想定し、避難経路を確認しておきましょう。



災害情報を確認

- 普段からテレビやラジオ、インターネットで、**気象状況**や**災害情報**に注意を払いましょう。
- 市からの情報に注意し、近所の方々と情報交換しましょう。



(出典:佐賀県 神崎市)

3日分の備蓄品例

水

1人当たり
1日×3ℓ×3日=9ℓ

食料

無加熱で
食べられるものが◎



介護食



粉ミルク

離乳食

乾パン

アルファ
米

缶詰

チョコ

クッキー

アレルギー物質が
含まれていないものを
多めに準備!

粉ミルク・介護食

(出典:HOME ALSOK)

ローリングストックとは

確保



備蓄



常に一定量の食料を
備蓄しておく方法

消費



(出典:HOME ALSOK)

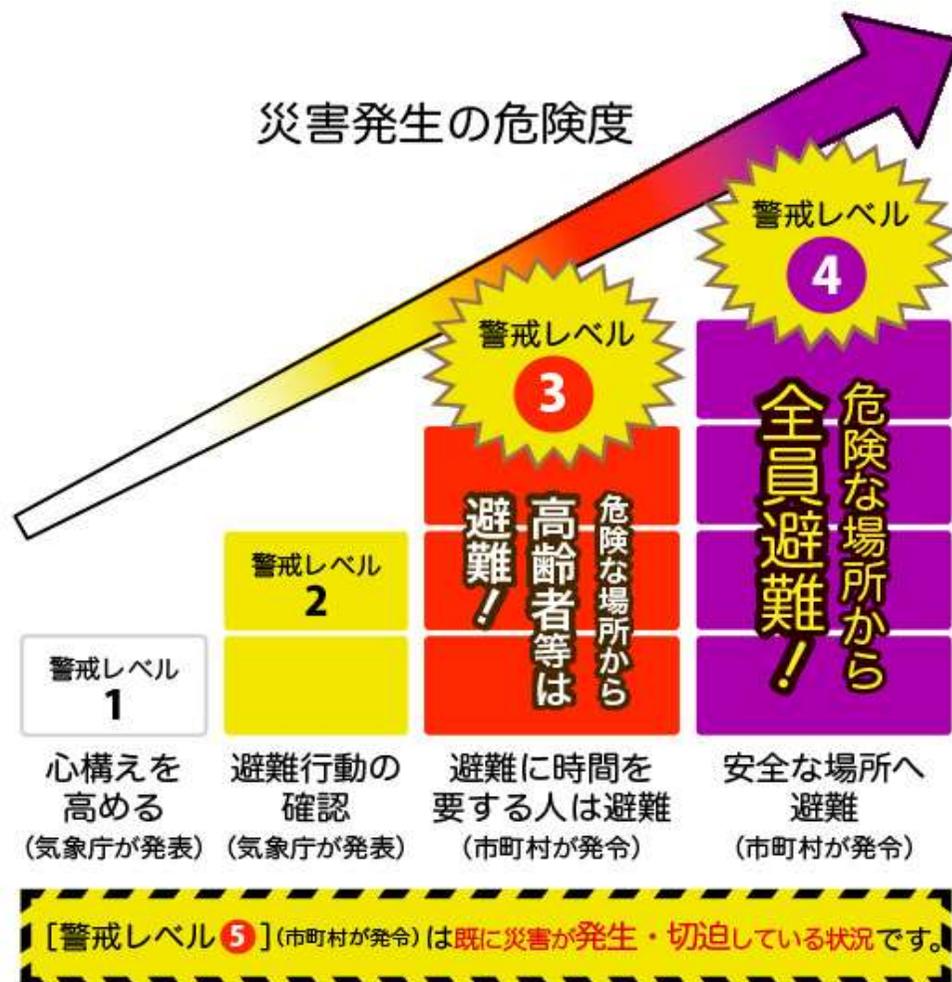
4.ハザードマップ

日立市WEB版ハザードマップ

(<https://www.city.hitachi.lg.jp/moshimo/002/005/p111273.html>)

2023年3月、パソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも、災害リスク(ハザードエリア)や避難場所等を確認できるよう、「WEB版ハザードマップ」の運用を開始。

5.警戒レベル



(出典:政府広報オンライン)

6.避難時持出し品

非常時持ち出し品チェックリスト

■ 飲料水

1人1日
3ℓが目安。



■ 医薬品

消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・
バンソウコウ・包帯・
持病の薬。



■ 手袋(軍手)

ガレキの撤去
や救助ができ
るように、厚手
のものを用意。



■ 乾電池予備

ラジオや懐中電灯に使用す
るものを少し
多めに。



■ 食料品

乾パン・缶詰・ビスケット・チ
ョコレートなど。

※赤ちゃんのいる家庭は、
粉ミルク・ほ乳びん
なども。



■ 貴重品

現金(小銭も)・預金通帳・印
鑑など。



※いざという時、すぐ持ち出せるよう
に保管場所を決めておきましょう。

■ ろうそく

濡れない様にビニール
袋に入れて、保管する。



■ 衣類

雨具・下着・
ジャンパー・
タオルなど。



■ 缶切り

多機能なもの
が便利。



■ 懐中電灯

夜間、すぐに手の
届く場所に。



■ 毛布

寝袋や体温を逃がさないサ
イバルシート
なども重宝。



■ マッチ・ライター

湿気やガス切れに注
意。防水マッチも市
販されている。



■ ヘルメット・防災頭巾

飛来物や落下物から頭を保
護するものをすぐに取り出
せる所に。



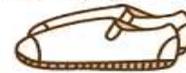
■ ラジオ

情報収集に欠かせない。懐中
電灯と一体型
のものも便利。



■ 運動靴

避難する時にケガを防止す
るために、すぐに取り出せる
所に。



非常時用
持ち出し品の
ワンポイント

● 非常時持出しの場合

避難するときに持ち出す最小限の必需品。
男性で15kg、女性で10kg程度を目安にリュック
などの持ちやすい状態で準備しておきましょう。

● 携帯電話の充電器

携帯電話は災害時、大変有効な通信手段となりま
すが、停電した場合など使用できないので、電池
式などの充電器を備えておくとい良いでしょう。

(出典:佐賀県 神崎市)